



自衛隊栃木地方協力本部

2025うつのみや花火大会を支援 ～夜空に輝く大輪の花～



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子・陸佐）は、8月9日（土）、宇都宮市道場宿緑地（鬼怒川河川敷）で開催された「2025うつのみや花火」を支援した。

花火大会は「完全ボランティア運営」として行われており、今年で19周年を迎え、第3部構成で約2万発の花火が上がり、約4万人以上の来場者が訪れた。

花火大会支援に栃木地本から13名が参加し、迷彩服や部隊帽、そろいの「自衛隊」オリジナル缶バッジを身に付け、入場確認や交通整備などの配置についた隊員たちに、「わあっ！自衛隊さんだ！かっこいいですねー暑い中お疲れ様ですー！」「いつもありがとうございます！頑張ってください！」などと声をかける来場者もみられ、花火大会を通して多くの人に自衛隊の存在をより身近に感じてもらうことができた。

栃木地本は、「今後も、各種イベント等を通じ地域住民との出会いとふれあいを大切にしながら、多くの方々に自衛隊の存在をより身近に感じてもらう、自衛隊に対する関心や理解の促進を図り、募集基盤の拡充につなげていきたい」としている。